

慶長遣欧使節団渡欧400年

遠藤周作『侍』展

“人生の同伴者”に出会うとき

関連イベント

◆講演会

①「『狐狸庵VSマンボウ』のユーモア」

講師:斎藤由香(エッセイスト・北杜夫長女)

日時:2月8日(土) 14:00~15:30

会場:町田市民文学館 2階大会議室

定員:80名(申込順)

申込:町田市イベントダイヤル(042-724-5656)で1月11日(土)12:00から受付



②「翻訳家が見る『侍』の“人生の同伴者”」

講師:ヴァン・C・ゲッセル(日本文学研究者)

日時:3月8日(土) 14:00~15:30

会場:町田市民文学館 2階大会議室

定員:80名(申込順)

申込:町田市イベントダイヤル(042-724-5656)で2月1日(土)12:00から受付



①②いずれも対象は本展観覧者。

当日受付の際に、展覧会チケットまたは半券をご提示ください。

◆朗読会

①耳で楽しむ狐狸庵エッセイ

語り手:語りよみ 五十葉舎

日時:2月28日(金) 10:30~11:10

会場:町田市民文学館 2階大会議室

定員:60名 ※申込不要(直接会場にお越しください)

②石坂浩二 『侍』朗読とおはなし

朗読:石坂浩二(俳優)

聞き手:加藤宗哉(作家・本展監修者)

日時:3月14日(金)18:00~19:30

会場:町田市民フォーラム 3階ホール

定員:180名(応募者多数の場合は抽選)

申込:往復はがきに、氏名・住所・電話番号を明記し、町田市民文学館

「石坂浩二朗読会」係まで。1人1枚。

締切:2月24日(月)(必着)



◆音楽座ミュージカル舞台稽古見学ツアー

案内人:加藤宗哉(作家・本展監修者)

日時:3月2日(日) 13:00~15:00

対象:本展観覧者(展覧会チケットをご用意の上、ご参加ください)

定員:30名(申込順)

申込:町田市民文学館カウンターか電話(042-739-3420)で2月1日(土)9:00から受付

展覧会観覧後、音楽座ミュージカルの芹ヶ谷スタジオに移動して、小説『わたしが棄てた・女』の舞台化作品「泣かないで」の稽古風景を見学します。

◆展示解説

日時:1月26日(日)、2月11日(火)、2月25日(火)、3月11日(火)、3月23日(日)

14:00~15:00 ※申込不要(直接2階展示室にお越しください)

【展覧会記念品プレゼント】

会期中は毎日、先着5名の方に文学館オリジナルグッズをプレゼントします。

遠藤周作(1923~1996)は、25年以上にわたって居住した町田市玉川学園で、『沈黙』や『死海のほとり』などの代表作をはじめとした小説、「狐狸庵もの」と呼ばれる軽妙なエッセイを執筆しました。

本展では、長年にわたり追究した「日本人におけるキリスト教受容」という文学的主題の、ひとつの到達点である『侍』を中心に、人々の苦しみや哀しみに寄り添う存在——“同伴者”を描いた作品世界をご紹介します。

『侍』は、仙台藩主・伊達政宗の命を受け慶長遣欧使節団の副使としてヨーロッパに渡航し、スペインで洗礼を受けた支倉常長をモデルとしていますが、遠藤が「この小説は僕の私小説みたいなもの」と語っているように、自身の受洗の経緯や渡欧経験が反映された作品です。創作ノート、草稿のほか、初公開となる「男と九官鳥」直筆原稿や旧蔵書等の資料約200点によって、史実とフィクションの狭間に込められた思いと、“同伴者”の存在を見出すまでの道筋をひも解いていきます。

遠藤文学を通して、宗教の枠を超え誰もが共感できる“人生の同伴者”の存在を、一人ひとりが自らの人生に重ね合わせて感じていただければ幸いです。



町田市民文学館ことばらんど

〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17

TEL 042-739-3420 / FAX 042-739-3421

・JR横浜線「町田駅」ターミナル口から徒歩8分

・小田急線「町田駅」東口から徒歩12分

遠藤周作『侍』展

人生の同伴者に出会うとき

慶長遣欧使節団渡欧400年



2014年1月18日[土]~3月23日[日]

【休館日】毎週月曜日、2月13日(木)、3月13日(木)

【観覧時間】10:00~17:00 ※毎週金曜日は20:00まで

【観覧料】一般:400(300)円、65歳以上・大学生:200(100)円、高校生以下:無料

※()内は20人以上の団体料金 ※ただし1月18日(土)、2月23日(日)、3月23日(日)は無料

【監修】加藤宗哉 今井真理

【協力】長崎市遠藤周作文学館

周作クラブ 仙台市博物館 宮城県慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館)

町田市民文学館ことばらんど